

<目指す学校像>

「人と人とが交わり、心の交流が実感できる温かな学校」

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 令和8年5月

URL : <https://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>

学校教育目標
『自立と共生』



狭中だより

えがおか がやく 学校

あたたかな心の交流を意識できた入会式 4月9日

入学式翌日9日、生徒会・部活動の説明会がありました。全校生徒が体育館に集まり、2、3年生の生徒会本部役員、委員長や部長が学校のことを1年生に伝えました。

生徒会本部は「このような活動をしています」という報告をし、各委員長が「このような人に入ってほしいです」と訴えかけました。

部活動紹介では、部活ごとに実演をしたり、作品を披露したりとても工夫した内容を発表しました。笑いや拍手も自然に起こり、体育館はとても温かい雰囲気になっていました。

1年生もきらきらと目を輝かせて発表に集中していました。きっと「何部に入ろうか」「委員会に立候補しようか」と迷ったことと思います。2、3年生は確実に「狭山ヶ丘プライド」を引き継ぎ、発展させています。学校は子供が主体です。生徒一人一人が活躍できる場所であってほしいと願います。素晴らしい活躍を見せてくれている狭山ヶ丘中の生徒たちです。

【学年の様子】教職員が生徒へのお祝いのメッセージの写真を掲示しています。

「6組の生徒も交流学級に入り、活動しています」

1年生

学校生活、制服やジャージの着用も慣れてきたようです。

各教科の教員と出会い、授業も前向きに取り組んでいます。5月29日には航空公園で校外学習を行います。



2年生

東京上野方面へ校外学習に出かけます。班ごとに芸術・科学・歴史からテーマを二つ選びます。各班がどこでどのような学習をするのか、楽しみにしています。



3年生

全国学力学習状況調査が22日、23日に実施されました。一生懸命に問題を解いている姿が見られました。今後も進路決定に向けて、いろいろと取り組んでいきます。修学旅行の計画も始まっています。



吹奏楽部紹介



技術・家庭科部紹介



保護者会・授業参観 ありがとうございました。



いろいろな開催方法があると思いますが、来校していただき対面で実施するメリットを大きく感じています。

保護者の皆様と教職員が意思疎通を図ることにより子供の成長を共に支えることができます。また、学校に対する理解を共有することで、子供の安心感が高まり教育環境も良い方向に向いていくと感じます。

「〇〇先生がこのように言っていたよ」「家庭ではこのような様子なのです」等、教職員と保護者のコミュニケーションを図ることが大切です。担任は家庭の様子を把握し、生徒の学校生活の支援ができます。

学校の様子をよく話す子もいれば、全く話さずに「普通」「大丈夫」で終わってしまう子いるのではないのでしょうか。机の中やロッカーの様子、掲示物の内容など、子供の内面を知ることができるヒントがたくさんあると思います。

学校公開につきましては、この時期に学級の様子や授業の内容等を参観していただきたいと設定しています。4日間、途中入退室も自由に参観していただけるようにしています。

今後も子供たちの成長の様子を肌で感じるができる行事等、積極的に参加していただけると幸いです。お待ちしております。

★狭山ヶ丘中の歴史★

5月2日開校記念日、本年度は土曜日です。

昭和54年12月21日、三ヶ島中学校の人数適正化を図るため、所沢市立若狭小学校・宮前小学校の学区をもって、仮称第2三ヶ島中学校の学区とすることが決まりました。所沢市立小中学校校名選定委員会において、2月に狭山ヶ丘中学校と校名が決定しました。



昭和55年4月1日 中村甲子初代校長を三ヶ島中学校より迎え、教職員27名が着任しました。

4月8日に2年生278名7学級で始業式を行い、4月9日に新入生332名8学級を迎えて宮前小学校の体育館を借りて、盛大に入学式が挙行されました。3年生はいなかったのです。

5月2日 開校式典を宮前小学校体育館を借りて行い、この日を開校記念日としました。狭山ヶ丘中学校に体育館ができたのは、昭和56年翌年でした。

校舎もプレハブで開校しました。下の写真は初代中村校長が記録し、校長室に残していただいたものです。当時の様子がよくわかります。

40周年行事は平成元年に航空写真（写真右上）を撮ったり、記念式典を実施したりしました。次は50周年で、令和11年に実施する予定です。楽しみです。



S56年10月30日校舎・体育館・プール竣工、校歌制定式



プレハブ校舎 S55年9月狭い校庭で部活動

校歌の作曲者は3年生学年合唱「河口」作曲者の岩河三郎さんです。